

腹腔鏡下鼠径ヘルニア根治術を受ける患者様へ

入院から退院までの予定

状況により予定が変更されることがあります。
分からないことがありましたらご遠慮なくご相談ください。

	月 日	月 日（手術当日）		月 日	月 日	月 日	（ 月 日 ）
	手術前日	術前(入院後)	術後	第1病日	第2病日	第3病日	（第4～5病日）
治療・処置		血圧を測ります 手術前に弾性ストッキングを履きます お腹の毛を除毛します お臍の掃除します	酸素吸入を行います 心電図をつけます 血圧を定期的に測ります 指先に酸素の量をはかる センサーがつきます 鎮痛剤は注射か坐薬を使います 術後3時間で酸素を外します。	心電図を外します 回診で創部の観察をします。 尿の管を抜きます 血圧を定期的に測ります （回数は減ります） 午前に退院になります 痛みが強い場合は、 職員へ声を掛けてください			
点滴・注射		点滴を始めます	点滴を持続的に行います 抗菌剤の点滴を行います	朝、抗菌剤の点滴を行います			
内服	許可された薬だけ少量の水で 内服してください	内服しているお薬がありましたら お薬手帳と一緒に看護師へ お渡しください	内服はありません	内服可能となれば鎮痛剤は 飲み薬となります 持参薬があれば回診後から 再開になります			
検査							
食事・栄養	普段通り食事をとってください 21時以降、食事できません	朝から食事はできません （うがいはできます） 6時まで飲水は可能です （午後手術 10時まで飲水可能）	食事は出ません （うがいは出来ます）	普通食を食べていただきます			
活動		制限はありません	手術後数時間はベッド上ですごします 尿の管が入っています 初回は看護師と一緒に歩きます	尿の管を抜き、トイレで排泄します （おしっこがでたら 看護師へ伝えてください）			
清潔	入浴をしてください 爪切りもすませて下さい		入浴はできません 歯みがき、洗面はできます	朝の洗面は介助します			
説明		入院生活・手術について 説明します	主治医から説明があります	退院の手続きを説明します 退院後の生活について 説明します	退院の手続きを説明します 退院後の生活について 説明します	退院の手続きを説明します 退院後の生活について 説明します	退院の手続きを説明します 退院後の生活について 説明します
経過・目標		手術の説明を聞き準備をします	ベッド上で安静に過ごします 痛みが強ければ鎮痛剤 を使用します	痛みが強ければ鎮痛剤 を使用します 退院できるようになります	退院できるようになります	退院できるようになります	退院できるようになります